「珈琲とカメラとSL」撮影についての概略等　25Feb.(1)

文責：猪瀬利夫

1.撮影部分の流れ

1-1.講義
1-2.撮影場所の下見と撮影の練習
1-3.桜とSLの撮影
1-4.撮影データの見直しとプリントデータのセレクト
1-5.提出データのプリント
1-6.プリントを見ながらの感想と講評
1-7.解散

2.詳細と注意点

1-1の講義の内容
・真岡鐵道様ー鉄道施設利用時の注意等
・真岡市観光コンシェルジュ様ー久下田駅周辺の歴史、真岡市の撮影スポット等
・蒲谷（猪瀬）ー日程の説明/撮影時の注意（真岡鐵道の話と重複ならば不要）

1-2について
・実際に久下田駅ホームを中心に撮影場所の選定
ーー般の利用者とのトラブルを避けること
ー撮影に関するアドバイスを要する場合は、スタッフに声掛けしていただく

1-3について
・各自撮影(下り/10:50、上り/15:42→**3月17日以降に時刻表変更あり**)

1-4について
・撮影場所から引き上げ、各自撮影したデータを見直す(5分-10分)
・撮影データからプリント出力する2枚を選ぶ

1-5について
・撮影データをPCに取り込み、プリンターでA4で出力(30分-45分)

1-6について
・各自が自分の撮影内容について発表、参加者は感想を述べる
・良し悪しを決める場ではないことに留意

1-7について
・発表終了後、久下田の町で撮り歩きなどをしても可（各自）
ー久下田のマップや真岡市の観光マップの利用（各所からの提供あり）
ーEx.「停車場線」沿いに歩く、街中の桜を探す等

3.その他

・撮影時のカメラは問わないが、SDカードやXQDカードを利用するカメラが好ましい
（参加申込時に、参加者のカメラを事前に知らせてほしい）
・撮影データのサイズは、800万画素以上を推奨
・プリントデータの提出はjpegのみ、Rawで撮影した場合は各自でjpegへ書き出す
・プリントサイズはA4、用紙銘柄は未定、参加者はプリント2枚をお持ち帰り
・午後の参加者は、下館駅から真岡駅に帰るSLの牽引も見られる
（真岡駅まで行けば、転車台も見られる）